

オガサワラオオコウモリの概要

1. 分類

翼手目 オオコウモリ亜科 オオコウモリ科 オオコウモリ属
オガサワラオオコウモリ
Pteropus pselaphon



2. カテゴリー

環境省レッドリスト（2007）では、絶滅危惧 A 類。

3. 特徴

前腕長 200～250mm、頭胴長 112～175mm、尾はない。体重 400～500g。体毛は全身暗褐色。樹林地に生息し、主に植物の果実や花密、葉を採食する。夜行性であり、昼間はねぐらとする高木の樹冠部に単独または数個体から数十個体の群れでぶら下がり休息している。特に冬期は集団でねぐらをとる傾向がある。交尾は通常 1～3 月にかけて行われ、初夏に 1 回に 1 仔を産むとされている。

4. 分布状況

小笠原諸島の父島、母島、北硫黄島、硫黄島、南硫黄島で生息が確認されている。小笠原諸島の固有種であり、国外には分布していない。

5. 生息個体数

父島個体群の生息数は 100～160 個体、母島は数個体、北硫黄島は数十個体、硫黄島は数個体、南硫黄島は少なくとも 100 個体と推定されている。

5. 減少要因

- ・農業や家庭菜園の防鳥ネットへの絡まり事故
- ・観光客等の接近によるねぐら林の攪乱
- ・ノネコ等による捕食、ネズミ類との餌資源の競合

出典： R D B (2002)

平成 20 年度国内希少野生動植物種の選定に係る調査報告書